

てんりんきょうぞう  
71. 転輪経蔵

■ 指定日

平成10年12月25日

■ 種別

有形文化財 工芸品

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市和田山町竹田

■ 所有者

観音寺



■ 内容

仏教の教えをまとめた一切教(経蔵・律蔵・論蔵の三蔵及びその注釈書を含めた仏教聖典の総称)を納める八角柱の書架の中心に、軸を入れて回転するように作られている。

中国梁朝の人、傅大士の創始と伝えられ、写教や経典の読誦の功德を積むことの出来ない庶民でも、これをまわすことによって同じ功德が得られると説かれている。

当寺の転輪経蔵は、寛政10年(1798)9月に落慶されている。

輪蔵を飾る彫刻は、柏原の中井文五郎と久須善兵衛、大工は地元の平松五郎作、五郎助と伝わる。

但馬に存在する多くの寺院のなかでも、転輪経蔵をもつ寺院は非常に少なく、当寺の精緻を極めた転輪経蔵は文化財としてだけではなく、美術工芸品としても貴重なものであり、他に類をみないものであるといえる。